



Ritsumeikan
Asia Pacific University

立命館アジア太平洋大学 ニューチャレンジに伴う建設事業

2007.3.19



学校法人 立命館

学校法人 立命館

理事長 長田 豊臣

総長 川口 清史

立命館アジア太平洋大学（APU）は、立命館学園がその創立100周年の記念の年に学園の全精力を注ぎ込んで開学した、全く新しいコンセプトの大学です。学生・教員の約半数を外国籍で占め、若者が創り上げる多文化の融合と共存の新しいキャンパス像を提示しました。また、日英の2言語教育、クォーター制度を活用したカリキュラムと厳格な成績評価など、極めて斬新で実践的な教育カリキュラムを展開しています。さらに「アジア太平洋学」というコンセプトを打ち出し、21世紀になり益々その重要性が増しているアジア太平洋の文化・歴史・経済・企業・政治などを多角的に、科学的に捉える研究分野の創出と発展に力を入れています。こうした社会が今まで欲しながら、しかしどこも提供できないでいた既成概念を打ち破る高等教育のあり方は、国の内外を問わず多くの方々の支持を得ることができました。

これらAPUが誇る全ての特徴は、立命館にとってチャレンジでありました。その一部は今、現在もチャレンジしている最中であるとも言えます。しかし我々は2006年、APUニューチャレンジという新たな領域に踏み込みました。これはAPUが進めてきた教育と研究が、学生と教職員が、創り上げたマルチカルチュラルキャンパスが、我々が開学当初に予想していたよりもさらに大きな飛躍の可能性を秘めていると分かったからです。さらに新しいチャレンジに踏み込んだ一歩、それがAPUニューチャレンジと言えます。

今、APUキャンパス造成以来の大きな工事を経て、APUニューチャレンジに伴う建設事業の竣工を無事迎えることができました。これらの建物と、これからこれらの建物で展開する教育と研究は、APUの有する可能性を実現へと転換する原動力です。APUそして立命館学園の全ての構成員がAPUの新たな挑戦を学園発展の可能性として主体的にとらえ、支え、推進してゆくことを心より期待しております。

最後になりましたが、株式会社 山下設計様、株式会社 熊谷組様、梅林建設 株式会社様はじめ建設にご尽力いただきました皆様方にあらためて御礼申し上げますとともに、今後とも本学園に対するご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

立命館憲章

立命館は、西園寺公望を学祖とし、一九〇〇年、中川小十郎によって京都法政学校として創設された。「立命」の名は、『孟子』の「尽心章句」に由来し、立命館は「学問を通じて、自らの人生を切り拓く修養の場」と意味する。

立命館は、建学の精神を「自由と清新」とし、第2次世界大戦後、戦争の痛苦の体験と踏まえて、教学理念を「平和と民主主義」とした。

立命館は、時代と社会に真摯に向き合い、自主性を貫き、幾多の困難を乗り越えながら、広く内外の協力と支援を得て私立総合学園への道と歩んできた。

立命館は、アジア太平洋地域に位置する日本の学園として、歴史を誠実に見つめ、国際相互理解を通じた多文化共生の学園と確立する。

立命館は、教育・研究および文化・スポーツ活動を通じて信頼と連帯を育み、地域に根ざし、国際社会に開かれた学園づくりを迫る。

立命館は、学園運営にあたって、私立の学園であることの特性を活かし、自立、民主、公正、公開、非暴力の原則を貫き、教職員と学生の参加、校友と父母の協力のもとに、社会連携を強め、学園の発展に努める。

立命館は、人類の未来を切り拓くために、学問研究の自由に基づき普遍的な価値の創造と人類的諸課題の解明に邁進する。その教育にあたっては、建学の精神と教学理念に基づき、「未来を信じ、未来に生きる」の精神をもって、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努める。

立命館は、この憲章の本旨を踏まえ、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献する。

二〇〇六年七月二十一日 学校法人立命館

立命館アジア太平洋大学は、学校法人立命館、大分県、別府市の3者の公私協力により、2000年4月に開学し、「自由・平和・ヒューマニズム」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」の理念のもと、アジア太平洋地域の発展と共生を担い、広く国際舞台で活躍できる人材の育成を目指して参りました。海外各国より志高い若者が集い、今日では70を越す国・地域（開学以降の受入延数は95ヶ国・地域）から約2,200名の国際学生と、2,700名以上の国内学生が学ぶ多文化キャンパスを展開するまでになりました。一方、国際社会へ目を向けるとその情勢は誠に複雑さを増しており、そうした時代の要請に耐え得る教育・研究プログラムの構築が強く求め続けられて参りました。この大胆な教学改革である「APUニューチャレンジ計画」、即ち 1. 既存の学部カリキュラムの再編成と強化、2. 新たな5つのインスティテュートの設置、3. 学生収容定員の増加、4. 学術界ならびに政財官界とのネットワーク構築はこうした時代の要請から実施されたものであります。学部カリキュラムの再編や新たなインスティテュートを始動させる為、各分野で豊かな見識の基にその重責を果たして下さった教員の方々、そしてプロジェクトの推進へ汗を流して下さった担当職員の方々へ心より敬意を表します。ありがとうございました。

そしてこの新たな教学改革の成果を具現化させるための施設構築事業が「立命館アジア太平洋大学ニューチャレンジに伴う建設事業」でありました。関係各社の皆様による大変なご尽力により、無事に竣工式を迎えることができましたことに感謝申し上げます。本学関係者はこの立派な施設に魂を吹き込みながら、世界水準の教育・研究プログラムを提供すべく大変大きな使命と責任を担うこととなります。世界では既に高等教育業界は大競争時代に突入しておりますが、この荒波に勇ましく立ち向かえる強固な教育・研究活動を展開して参ります。新学舎が、学生たちにとって、より一層の国際相互理解の場となり、豊かな学生生活を送る空間となることを心から願いながら、私のご挨拶とさせていただきます。



別府湾からキャンパスを望む

キャンパス配置図



FACULTY OFFICES II

B II 棟－研究棟Ⅱ（工事名称 新研究棟）工事概要

設計監理 株式会社 山下設計

施工 株式会社 熊谷組・梅林建設 株式会社 共同企業体
(協力企業) 電気設備工事 株式会社 きんでん
機械設備工事 株式会社 三晃空調
昇降機設備工事 株式会社 日立製作所

構造 鉄筋コンクリート造、地上3階

面積	建築面積	1,764.94㎡
	延床面積	4,034.34㎡
	各階床面積 1階	1,673.30㎡
	2階	1,180.52㎡
	3階	1,180.52㎡

施設概要 1階 言語インスティテュート、言語自習コーナー、
上級講師／嘱託講師共同執務室、非常勤講師共同控室
2階 教員研究室、APU孔子学院、インスティテュート教育ラボ
3階 教員研究室



STUDENT UNION II

EII棟—スチューデントユニオンII（工事名称 学生関連施設棟）工事概要

設計監理 株式会社 山下設計

施工 株式会社 熊谷組・梅林建設 株式会社 共同企業体
(協力企業) 電気設備工事 株式会社 きんでん
機械設備工事 株式会社 三晃空調
昇降機設備工事 株式会社 日立製作所

構造 鉄筋コンクリート造、地上3階

面積	建築面積	1,087.23㎡
	延床面積	1,928.50㎡
	各階床面積 1階	970.37㎡
	2階	858.63㎡
	3階	99.50㎡

施設概要 1階 生協ショップ
2階 多目的ホール、プレゼンテーションスペース
3階 電気室



CLASSROOMS II

FⅡ棟－教室棟Ⅱ（工事名称 新教室棟）工事概要

設 計 監 理 株式会社 山下設計

施 工 株式会社 熊谷組・梅林建設 株式会社 共同企業体
(協力企業) 電気設備工事 株式会社 九電工
機械設備工事 ダイダン 株式会社
昇降機設備工事 株式会社 日立製作所

構 造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階

面 積	建築面積	2,426.21㎡
	延床面積	6,075.25㎡
	各階床面積 1階	2,394.56㎡
	2階	2,394.56㎡
	3階	1,277.06㎡
	塔屋	9.07㎡

施 設 概 要 1階 教室、情報処理演習室
2階 教室、CAI 教室
3階 教室



AP HOUSE 1 EAST HALL II

APハウス1増築棟 イーストホールII (工事名称 APハウス3[増築1]) 工事概要

設計監理 株式会社 山下設計

施工 株式会社 熊谷組・梅林建設 株式会社 共同企業体
(協力企業) 電気設備工事 住友電設 株式会社
機械設備工事 三機工業 株式会社
昇降機設備工事 株式会社 日立製作所

構造 鉄筋コンクリート造、地上5階

面積	建築面積	965.47㎡
	延床面積	4,496.77㎡
	各階床面積	1階 965.20㎡ (渡り廊下含む)
		2階 878.58㎡
		3階 878.58㎡
		4階 878.58㎡
		5階 878.58㎡
	塔屋	17.25㎡

施設概要 1～5階 寮室(計189室)、コミュニティキッチン、ランドリー、シャワーコーナー



AP HOUSE 2 RIGHT HALL II

APハウス2増築棟 ライトホールⅡ（工事名称 APハウス3[増築2]）工事概要

設計監理 株式会社 山下設計

施工 株式会社 熊谷組・梅林建設 株式会社 共同企業体
(協力企業) 電気設備工事 住友電設 株式会社
機械設備工事 三機工業 株式会社
昇降機設備工事 株式会社 日立製作所

構造 鉄筋コンクリート造、地上5階

面積	建築面積	931.44㎡
	延床面積	4,462.74㎡
	各階床面積	1階 931.17㎡ (渡り廊下含む)
	2階	878.58㎡
	3階	878.58㎡
	4階	878.58㎡
	5階	878.58㎡
	塔屋	17.25㎡

施設概要 1～5階 寮室(計189室)、コミュニティーキッチン、ランドリー、シャワーコーナー





BⅡ棟-研究棟Ⅱ 玄関ホール



BⅡ棟-研究棟Ⅱ 教員研究室



F II 棟-教室棟 II 300名教室



F II 棟-教室棟 II 教室



EⅡ棟-スチューデントユニオンⅡ 2階 多目的ホール



APハウス 寮室



メイングラウンド南東方面からキャンパスを望む



キャンパス全景航空写真

株式会社 山下設計
代表取締役社長 横山 孝治

このたび、立命館アジア太平洋大学ニューチャレンジに伴う建設事業がめでたく竣工の運びとなりましたことを、心からお慶び申し上げます。

今日この良き日を迎えることができましたのは、ひとえに学校法人立命館ならびに大分県、別府市関係各位の熱意あるご指導の賜物と深く感謝し、お礼申し上げます。

また 工事遂行にあたり、厳しい気候条件と敷地条件下で安全性に十分配慮し、高度な技術と弛まぬ熱意をもって完成されました施工各社に、心より敬意を表します。

このたびの事業は、開学8年目を迎えられるAPUが更なる飛躍を求めたニューチャレンジのために学舎・教育施設・厚生施設・寮を建設し、キャンパスを拡大させたものであります。

計画にあたりましては、当初に設定しておりました大学の将来計画の考え方を基本に、既存施設との意匠上の調和と融合、そして設備計画の整合等に配慮し、各棟それぞれにおいて「ニューチャレンジ」のコンセプトを表現するよう努力致しました。更に、工事監理におきましても万全を期す意味から、全社をあげて対応して参りました。

またこの間、この事業に伴う既存施設の改修工事にも設計監理者として携わり、APU開学当初より継続的に機会を与えて頂き、APU発展の一端を担えましたことに対し改めて感謝申し上げます。

最後になりましたが、立命館アジア太平洋大学の更なるご発展と立命館学園様が益々躍進されますことを心よりご祈念申し上げて、竣工のご挨拶とさせていただきます。

熊谷組・梅林建設 共同企業体
代表者
株式会社 熊谷組 取締役社長 大田 弘

「立命館アジア太平洋大学ニューチャレンジに伴う建設事業」の竣工を心よりお慶び申し上げます。

2000年4月に「自由・平和・ヒューマニズム」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として開学されましたAPUは、2004年3月に第1期生が世界の舞台に羽ばたき、以来、各界より高い評価を得てこられました。

今回、APUの更なる発展と一層の国際化を目標とした「APUニューチャレンジ」という大変意義深い事業に参画できましたことは、施工に携わった私共にとりましてこの上なく荣誉とするところでございます。

施工にあたりましては、「お客様に感動を」を合言葉に、「堂々とした誠実なものづくり」を追求し、50年後、100年後まで評価される建物を目指して、社員・作業員に至るまで総力を結集して参りました。おかげさまを持ちまして無事完成し、この良き日を迎えることができましたのは、ひとえに学校法人立命館ならびに立命館アジア太平洋大学の関係各位の皆様方をはじめ、株式会社 山下設計様、その他各方面で関係の皆様方から、ひとかたならぬご指導と暖かいご協力の賜物と深く感謝申し上げる次第でございます。

最後に、立命館学園の益々のご発展と、APUで学ばれる学生の皆様が国際社会において活躍されることを心よりご祈念申し上げまして、竣工のご挨拶とさせていただきます。

立命館アジア太平洋大学ニューチャレンジに伴う建設事業工事概要

設 計 監 理 株式会社 山下設計

施 工 株式会社 熊谷組・梅林建設 株式会社 共同企業体
 (協 力 企 業) 電気設備工事 株式会社 九電工、株式会社 きんでん、住友電設 株式会社
 機械設備工事 三機工業 株式会社、株式会社 三晃空調、ダイダン 株式会社
 昇降機設備工事 株式会社 日立製作所

電話設備工事 協和テクノロジーズ 株式会社

A V 設 備 パナソニックSSマーケティング 株式会社

情 報 設 備 富士通 株式会社、富士通サポートアンドサービス 株式会社

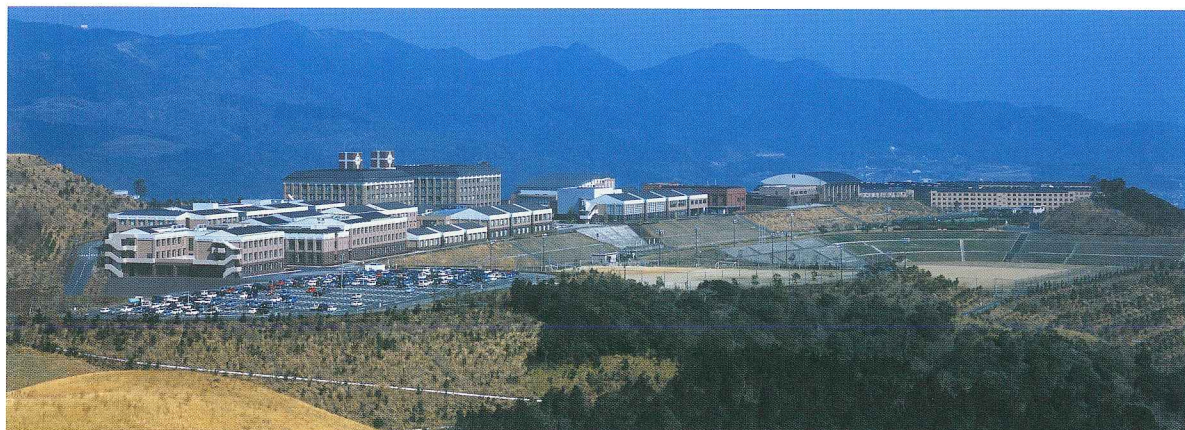
機 器 ・ 備 品 株式会社 クレオテック
 (協 力 企 業) 愛知 株式会社、株式会社 岡村製作所、コクヨ 株式会社

工 期 起工式 2006年4月19日
 建物竣工 2007年2月28日
 外構整備完了 2007年3月15日

建物構造規模

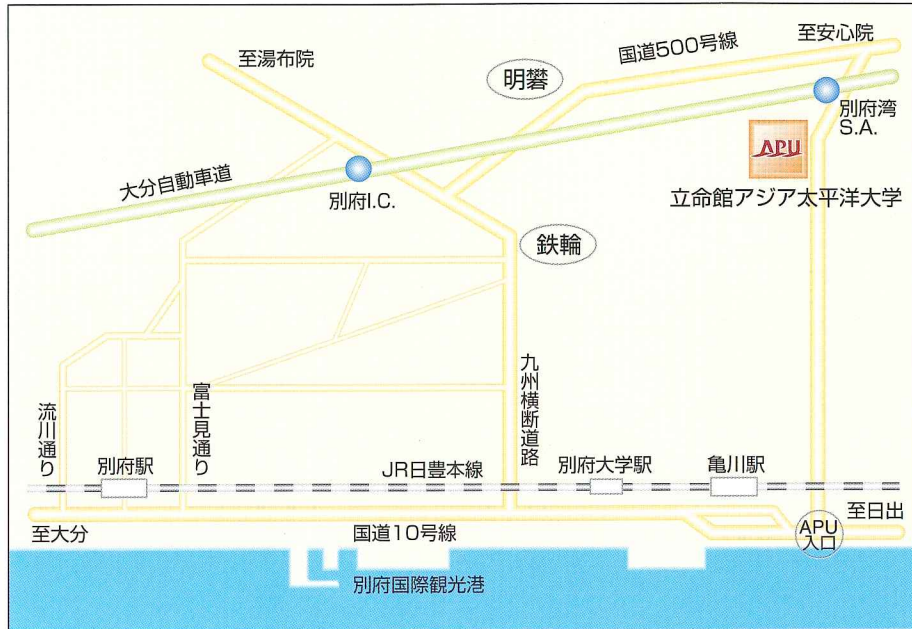
建物名	構造	階数	延床面積
BII棟-研究棟II	RC造	地上3階	4,034.34㎡
EII棟-スチューデントユニオンII	RC造	地上3階	1,928.50㎡
FII棟-教室棟II	RC造 一部SRC造	地上3階	6,075.25㎡
APハウス1増築棟 イーストホールII	RC造	地上5階	4,496.77㎡
APハウス2増築棟 ライトホールII	RC造	地上5階	4,462.74㎡
外構付属建物			
ゴミ集積所1	RC造	地上1階	75.00㎡
ゴミ集積所2	RC造	地上1階	51.00㎡
倉 庫	S造	地上1階	157.68㎡

定 礎 揮 毫 モンテ カセム (立命館アジア太平洋大学長)



湯山展望台よりキャンパスを望む

付近見取図



学校法人立命館

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1番地

立命館 アジア太平洋大学

〒874-8577 大分県別府市十文字原1丁目1番